

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成27年5月22日（金）10:00～12:10
場 所	メイトム宗像 101会議室
委 員	■ 井上豊久、■ 河野和道、■ 志岐宏美、■ 中里留美子、■ 東博子、 ■ 前田誠、■ 松永年生、■ 南博、■ 山下恵美子、■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課；村上、合島、新頭 元気な島づくり課；武丸 むなかた市民フォーラム；梶栗、人見、雪松、立花、入江

1. はじめに

《会長あいさつ》

例年通り、事前の学習会。今日は中身についての審議ではなく、資料の不足やここはどうなっているのかなどを聞いていただき、中身については審査会当日にお願いしたい。

2. 委員の交代について

河野和道委員就任による委嘱状の交付（安部委員の人事異動に伴う委員の交代）。

《河野委員あいさつ》

3. 協議事項

（1）平成27年度人づくりでまちづくり事業及び元気な島づくり事業事前検討会

①審査の進め方について

資料に基づき、事務局から説明。

《質疑等》

●審査項目について、従前のものからの変更はあるか。

⇒変更はない。

●審査に関する公開の件で共有認識のため質問したい。会議の公開のレベルは、審査のどの段階には傍聴者が居て、傍聴者ではなくても次の審査の団体が室内に居る、その会議の公開のレベル。どの会議がどうなのかということを教えてほしい。もう一つが、会議の議事録であるとか、あるいは評価シート、この発言内容とか記載内容がどういう形でどのレベルまで公開されるのか。

●公開については、本日の協議事項に挙がっているようだ。

⇒会議の公開についても、併せてご協議いただきたい。

●「審査会場には関連する課が出席している場合がある」とあるが、この記述は如何なものか。職員も、市民のみなさんが地域で何を課題としているのか、それにどう取り組もうとしているのか、そういうことを勉強するあるいは情報を集める良い機会である。それが、出る場合もあれば出ない場合もあるということは、この事業に対する緊張感が足りないのではな

いか。これは、必ず出るというように再検討していただきたい。若い職員の勉強という位置づけでもよいし、答えられなくてもよいのではないか。

⇒人まち事業の担当課のあり方については、事務局としても大きな課題として捉えている。いわゆるオール市役所体制をこれからどうしていくかを検討すべく、本日の協議事項の専門部会の設置でも提案し、協議をお願いしたいと考えている。緊張感のなさという部分は、甘受させていただく。新規事業に対しては対応することとしているが、今回までは全ての事業に対して担当課が参加するのではない、ということをやめご了承ください。

●担当課の意見は聞かれないということになるのか。

●協働化提案制度ではないのでそこまでは求めない。

●企画提案型はかなり担当課と相談をして提案することがあったが、他の提案に対しては、行政の関わり方がかなり違うように思われる。

⇒企画提案型については、担当課が必ず参加している。どうしても出席できない場合もあるが。

●担当課は、この申請があることは知っているのか。

⇒どこの課が本当に関連するののかというのは微妙な部分もある。事務局判断で選んだ場合もある。

●人まち事業の捉え方に関しては、参画審の意見としてきちんと伝える必要がある。研修とすることかどうかはともかく、職員の方々に考えていただくことは必要と思う。

●同じ地区で同じようなものが出ていたりとか、同じコミュニティの中の事業などもある。それを課がどう捉えているのか、関連部署がどう把握して連携させようとしているかとか、それは欲しいような気がする。課の中でもう少し煮詰めていただけないか。やりたいという市民の意思は感じるし、みんな応援したい。行政としてその流れとか連携とか、まとめをどうするのかということはすごく大事だと思う。一つの審査に対しての評価ではなく、人まち事業をどのように提案として賛成していくかという基本的なもの。

⇒人まち事業は、あくまでも団体が主体となって行う事業なので、市が行う事業は市民サービス協働化提案制度。なので、同じ地域からいくつか出されるということは、市として調整する、地区が均一になるようにとの調整は考えていない。

●そういう調整ではなくでて、どう捉えているかということ。こういうことが出てきたということ、課として。

⇒企画提案型については、担当課は把握している。

●あとは市民が自由にだして可、ということか。

●市民が自由に出すということが基本なので、事前に制限するということはしないということとで理解いただきたい。実際に実施するときには連携とかが必要になる場合もあるかと思う。その点は、特記事項等で伝えてもらえればと思う。

●そのような視点から質問することはあろうかと思う。個別の事業ではなくて、これをどんなネットワークで結び付けるか、より効果的になるだろうか、そのへんは行政はどう考えているかと聞く場合はあろうかと思う。行政は市民活動の優れたコーディネーターであるべき。そういう視点から質問することもあるだろうから、ということ。

●応援してもらわないと、気持ちだけではやりたいことは進まない。

②個別事案の検討

まず、新規事業について概要の説明を受け、ポイントについて協議する。

事務局から、申請様式を一部変更した旨説明。

「5、赤間サポート隊」

資料に基づき、概要を事務局から説明。

活動が赤間宿まつりを中心とした展開であり、予算書の中の経費が主催者のコミュニティと混同することはないか、需用費がほぼコピー代であり、事業に対する予算として適正化否かを審議いただきたい。

なお、申請団体にはインターネットを活用した安価な印刷の情報も提供している。

「6、赤間にぎわしたい」

資料に基づき、概要を事務局から説明。

予算の中で時代衣装の1日のレンタル料が高額である。その必要性について審議いただきたい。事業計画の実現性、具体的な展開も併せて審議いただきたい。

《質疑等》

●ミニマーケットということだが、赤間宿まつりにはかなりの数出店されているが、一部のコーナーなのか、いくつかの店舗などを使うのか。当日明らかにしたい。

⇒雑貨など、将来入ってもらえそうな所に声をかけるということ。

●空き店舗がどこにあるか、などが判ると良いかもしれない。

「8、がんばれ宗像!!」

資料に基づき、概要を事務局から説明。

事業計画の実現性について、教育機関との協議がこれからの段階で可能か。事業9も、同じ団体に全てできなかったようだが、その点も併せて審議いただきたい。

《質疑等》

●小中の保護者が対象だが、テーマを見ると若者からちょっと上の年代、それは2年目3年目なのか、その辺のつながりを分かるようにしてもらいたい。テーマを見るともう少し上の年代が事業として目的のようだが。

⇒大学生向けの計画もあるようだが、1年目の申請ということで、順番を考えたときにまず保護者向け、小さい子どもの頃からすることが大切だということで、そのような形になっている。

●予算書の中でメンバー講師と書かれているが、メンバーが講師になるということか。これは認められるのか。

⇒要項にもあるが、団体内の者が講師になる場合は、2分の1は認めらるので、金額としては1万円の2分の1の5千円ということで、キャリアカウンセラーの資格を持っているので、認められる。

●メンバー構成をもう少し詳しくしてほしい。

●キャリア教育などが出ているが、どのような内容なのか。当日聞くが、事務局でどのよう

に捉えられているのか。

⇒子どもが将来大きくなった時の、ということで挙げているが、保護者自身の就職とか、そういったところも考えての話しというところまでは聞いている。キャリアを広く提案されているので、細かいところまでは把握していない。

●体制について危惧しているということだったが、どのように聞いているか。この団体は2つの案件で申請しているが。

⇒もう一つの申請の防犯活動に関しては、昨年度よりは回数を減らして万全の体制で実施したいとは聞いている。この事案に対しては、当初はもっといろいろな事案を提案されていたが、1年目ということで絞ってもらって提案していただいている。

●関連部署がコミュニティ協働推進課になっているが。キャリア教育だと変わってこないか。一度検討を。

「12、田久有志の会」

資料に基づき、事務局から概要説明。

《質疑等》

●対象となる大学生は、田久に居住している者か。

⇒居住地は関係なく、教育大や九州女子大学など、色々な所に学生を募るということ。なるべく市外に居る学生を取り込みたいとのこと。新しい視点を入れるために。

●地元の雰囲気を知っていることも必要かと思うが。

●コミュニティを巻き込んだ視点も必要か。

●予算で、ボランティアの謝礼で600円と挙げられているが、この金額は募集要項等で規定されているか。福岡県の雇用最低賃金を下回る金額を単価として挙げているのは、その単価に補助率を掛ける前なので、補助金だからというのは説明にならなくて、元々の事業として幾らかかるかを考えたときに、600円の単価が妥当かどうかというのは、団体というよりも市として詰めが必要なのではないか。団体にも考えを聞きたいところではあるが。

⇒金額的には交通費を想定しているのかと考えられる。そこのところで今回は考えているようだが、賃金としてであれば、団体にも投げかけてみたい。

●そうだとするならば、報償費ではなく交通費になろう。報酬として挙げている以上、それは報酬となると思うので、今申し上げた問題は出てくるだろう。

●他の団体にも出てくる問題なので、全体的な課題として捉えていただきたい。

「14、吉武地区スポーツ振興協議会」

資料に基づき、事務局から概要を説明。

《質疑等》

●収入の寄付金の原資を尋ねてみたい。

●設備費について、企画提案型なので認められると思うが、テントなどは妥当なのか。

⇒今回の事業内容にあるグラウンドゴルフ大会での使用を考えており、100人くらいの参加が見込まれる。そのためにはテントが必要とのこと。大会時のみで、毎週の教室での使用は想定されていない。その他ハッピーウォークなどでも使われる。

●学校やコミュニティから借りるということは考えられないか。

⇒3年間の事業なので、それを見越して購入したいとのこと。

●必要性については、審査会で問うてみたい。

●団体に伝える必要はないが、事務局への問いかけだが、申請書の中の団体の活動展開で、補助金終了後も市民サービス協働化提案制度を目指しとあるが、基本的に現在の市民サービス協働化提案制度の組み立て方からいくと、こういう形のものを協働化提案制度に入れるという形にはなっていないと認識している。過去そのような事実はあるが、そもそも論からいうと、提案型のものが現在その制度の枠組みから外れていて、それをどうするかということを含め今後議論していこうということになっていると思うが、市民の間でこの補助金は市民サービス協働化提案制度をとるためのワンステップ的な捉え方が広まっているとすると、現在の仕組みの中では問題であると思う。言ってみれば、ある意味では新たな既得権というか、固定的に補助金なり委託費が継続的に出る仕組みになりかねないと思っている。なので、ちょっと市民サービス協働化提案制度の枠組みで企画提案型を認めるのであれば、それはしっかり制度を作らないといけないし、それはどういう形で評価をして、条件に見合わなかったら打ち切るとか、この辺は詰めていかないと、こういう流れはすっきりしない。団体が現にそう思われているのは良いので、制度の問題として考えていかなければならないと思う。敢えて団体にいうならば、このような事業は市からではなく TOTO からお金をもらうべきではないかということ。

●今言われたことは、直接団体に聞いてみても良いかもしれない。

●協働化提案制度は今市がやっている事業が対象で、自分たちがやりたいことをするという制度にはなっていない。

●過去審議会で、人まち事業から協働化提案制度へステップアップみたいな事業があったので、これは結構厳しい議論をしたと思う。そういう経過もあるので、そこはきちんと考えてほしい。更に進んで言うなら、市民サイドからの市民提案型の協働化提案制度というものが新たに組み立てられるなら、この問題はそちらの話にシフトしていくだろう。興味があるので、団体の意見を聞いてみたかった。

●今後の制度を考えるうえでの事前ヒアリングという意味では、あるかもしれない。

●全部そのようになって行くのではないかな。人まちが終わったら次の協働化へ。

●その件は、次の協議事項で協議いただきたい。

「17、ふれあい自然塾の会」

資料に基づき、事務局から概要を説明

コミュニティとの連携というところで、団体としても少しあやふやなところがあるので、計画としてはっきりしていない部分がある。

「18、まつりのぼせもんたい」

資料に基づき、事務局から概要を説明。

大道芸まつりで使われるであろう物品が混在している。スケジュールや予算も明確ではない。その妥当性について審議いただきたい。

《質疑等》

●視察の静岡は、何か目的があるのか。ワールドカップだろうか。

⇒イベントを観に行くのではなく、育成のために他の団体を視察するというもの。ただし詳細は決まっていない。

- 宿泊を伴う視察は、簡単な計画書を提出いただいていたが。

⇒提出を依頼しているが。説明できるようにはしておきたい。

- 金額も安すぎないか。

- 大道芸まつりは取りやめになると聞いたが。

⇒今年は実施すると聞いている。

- やるとすればどこが。今まで取り組んでいた人たちはしない、南郷コミュニティも受けないと聞いている。

⇒あくまでも内容としては育成になっている。人材が育てば、老人会などに出て行ってということも考えている。

- 予算書についても、公金なので緊張感を持って作ってほしい。

⇒かなり手直しはしたが。

「20、宗像市レクリエーション協会」

資料に基づき、事務局から概要を説明。

人まち事業でやるべき事業なのかを審議いただきたい。

《質疑等》

- レクリエーション介護士の詳細について、当日説明いただきたい。

「う、大島小学校 PTA」

資料に基づき、事務局から概要を説明。

《質疑等》

- 大島での O・T キャンプは初めてか。

⇒継続して実施している。

- 現在行われている事業はどれで、新しく取り組む事業はどれか。

⇒年中行事として全てやっている。それらを充実させていきたい。

- 中学校との関わりはどうか。PTA 規約は小中になっているが、小学校だけで取り組む理由を聞きたい。

- O・T キャンプを東峰村で行う場合の方法についても、参考までに教えてほしい。

全体をとおして協議。

- 全般的に、以前に比べて地域の方が活性化のために補助金をということですのでいいなと思ったが、地域なのでコミュニティとの関わりというのが、予算を立てるときにもう少しコミュニティと連携したときに、共有できるものは貸してもらえそうな、そういうのが連携ではないか。大島でも、これだと PTA 行事がこの中に入っていて、O・T キャンプだけを特化して出された方が。コミュニティでは自分たちの地元を活性化させたいということで、その中ではコミュニティとはどういう関わりがあるのか。どういう考え方をしたらよいのか、教えていただきたい。もちろん連携はされていると思うが、この位の予算はここから出す、ということを審議したい。

●コミュニティでできることとそうでないこと。その辺りが非常に悩ましいところがあるが、地域としてはコミュニティが中心となって動いているが、うまく機能しない部分もある。そこはコミュニティのスタッフだけではうまくいかない。限られたスタッフだけでは難しいと捉えている。

●この補助制度自体の予算と、実際に決定する場合にこの部分は減額して実施してくださいと、この会議の中でそれまで決定するということでよいか。

●今回申請された補助額はどの程度になるのか。

⇒人まちの予算は800万円。島づくりが320万円。申請額は、人まちが約670万円、島づくりが約260万円。

●他の自治体に比べたら、予算は手厚い。

●Eg ブランダーについて、非常に良い取り組みと思うが、初年度と団体の様子が変わってきているように思う。その状況は把握しているか。

⇒今年度からの関わりなので、昨年度の状況は分かりかねるが。元々のメンバーの6人が中心になっている。過去2年実施してきた事業をとおして、周りでは仲間というかつながりはできてきている。そこら辺も今回は巻き込んでやられるかもしれない。

●昨年までは一般市民対象の相談会もあったが、内部の学習会が中心のようだ。事業内容に講演会はあるが、スケジュールには挙がっていない。

●宗像市内で頑張っている福祉関係者がここで勉強されて、宗像市内で力を発揮していただきたかったが、ここで勉強された方々が他市に出ている。これは非常に残念なことと思う。担当課としては、これをどう捉えどう関わってきたのか。

●今年度で終了する事業が12件ある。申請書を見ると何とかして継続したい。もう終わるというものはないようだ。その辺はあえて聞いてみたい。

事務局から、金海・むなかた親善の会について。事業の性格上宿泊を認めている。今年は金海から宗像に来るということで、その点について審議いただきたい。

●宿泊費が全額計上されているのか。

⇒食費を除いた分、全て計上されている。

●その他、気付いた点等があれば、事務局に連絡いただきたい。

(2) その他

①審議録の会議録の公開方法について

審査会の公開方法と会議録の公開方法をご協議いただきたい。

事務局から、審査会公開の現状について説明。今まで従前の方法にのっとって行ってきたところがある。審議会で方法を決定したうえで、審査会開催につなげていきたい。

《質疑等》

●基本的には従来どおりのやり方でよいと思う。気になるのは、最初に入室する団体が、審査前の事務連絡等の時にも同席している場合があり、それはおかしいと思う。その場で審査のことに関する質問などもやりたい時もあるので。基本的に9時スタートであれば9時から入室してもらおう。それまでは別室で待機してもらおうという形にしてもらえばと思う。それ以

降のいわゆるプレゼンだとかその場での質疑の部分については、他団体や市民に開かれた形でやるべきだと思うし、一方で審査の部分は公開することによる弊害もあると思うので、非公開ではどうかと思う。

※審査会の公開

- ・申請団体が入った審査会は公開。ただし、入室時間は厳格に管理する。
- ・検討会は非公開とする。

事務局から、会議録の現状について資料に基づき説明。

現状では審査の経過、その中で出された団体にとっても有益な情報なども知る機会がないのは如何なものかと、昨年度の審議会において提案された。公開の方法は審議会で決定することとされているので、協議し決定していただきたい。

《質疑等》

●審査結果については、個別に申請団体には伝えているのか。

⇒点数は伝えていない。

●不採択になったケースで、その理由について尋ねられたことはあるか。

⇒市にはない。

フォーラムからは、不採択の団体にはその点の説明は行っている。

●得点が満たないため不採択ということは、ポイントだけ出して不採択ということでしたやっの方が良いのではないかと。採択については、特記事項などを書いて出しているが、不採択は点数が足りなかったもので不採択ではなく、どういう事で不採択になったのか。そのポイント的なものはこういう事で不採択ということを出した方が親切ではないだろうか。

●他の自治体の同じような補助制度では、簡潔な採択不採択の理由を示している場合がある。申請しようとする団体が調べたときに、審査項目は公開されているが、実際に審査のどういいうことが問題なのか、もう少し情報があつた方が、団体に対しても市民に対しても公開した方がよいと思う。ポイント的なもので構わないので。もう少し説明があつた方がよい。

⇒検討会の段階で不採択となった分は、不採択の条件を検討していただくということでお願いしたい。

●審議員用の会議録は、欠席した時にも判りやすい。

⇒審議委員にお渡しする分は、従来通りとしたい。詳細な要約筆記ということで。

●不採択の場合は、審議会として意見をまとめる、という作業が必要になるということか。

※会議録の公開

- ・発言者名；非公開
- ・得点；非公開
- ・特記事項、付すべき条件；公開
- ・発言内容；詳細な要点筆記で公開

内容は一旦審議委員で確認。公開するうえで疑義が場合は、事務局から委員に照会し、その結果を踏まえて公開する。協議を要する場合は、会長と副会長の判断に委ねる。

不採択の場合は、その理由を簡潔に記載する。

②専門部会の設置について

事務局から、資料に基づいて説明、提案。

《質疑等》

●挙げられている課題は重要な課題と思うが、その内のいくつかは、部会での検討よりも審議会全体で議論すべき内容なのではないだろうか。部会を設けて数か月間で、それでも素晴らしいものはできると思うが、審議会全体で議論すべきものがこの中には含まれているのではないだろうか。具体的ではないが、印象として。

●全体でやった方が確かによろしいが、ある程度整理して、そこでまとめたものを全員で協議する、ということは必要ではないだろうか。

⇒部会では原案を作成。実際の審議は全員でということになるだろう。

●企画提案型協働事業に絞って、ということもあろうかと思うが。

●企画提案型の協働事業の検討などは、テクニカルな部分だとかもあるので部会でも良いのかなと。以前部会を、という話が出たときにそういうイメージを持っていた。①に挙げているようなものは、何もない状態から審議委員全員で議論するような本質的な部分ではないだろうかと思う。

●部会としては、市民提案型に絞ってはどうか。全部やると大変ではないか。

●以前も、①と③と同様の内容を半年ほどかけて審議委員全体で議論したことがある。幅広い意見があった方が良いものもあるので、部会だけではかえって厳しいかもしれない。スケジュール的には大変だが、②は今年しなければならないが。

●当然、②を検討しながらも①にも③にも関連してくる部分もあると思う。②を中心に部会で議論するということとしたい。

●委員の選出をしたい。

(井上会長、東副会長、中里委員、山下委員を推す声あり。)

※部会員；井上会長、東副会長、中里委員、山下委員

③社会教育委員研修会実行委員の選出について

事務局から、資料に基づいて説明、提案

(吉田委員を推す声あり。)

※実行委員；吉田委員

3. その他

事務局から、次回審議会（5月29日審査会）日程の確認。

＝ 散 会 ＝